

REVIEW OF THE RADIO RESEARCH LABORATORIES

電 波 研 究 所 季 報

VOL.20 NO.108 MAY 1974

目 次

高緯度超高層物理学特集

1. 緒 言	中 田 美 明 (181)
2. 熱圏 (構造と運動)	米 沢 利 之 (183)
3. 高緯度における全電子数	中 田 美 明 (193)
4. C C I R における極域電離圏の研究現状	石 川 三 郎 (203)
5. 高緯度地域におけるスボラ <i>ディク</i> E 及びスプレッド F	田 尾 一 彦 (215)
6. 赤道地域電離層不規則電離とシンチレーション	新 野 賢 爾 (231)
7. 人工衛星電波のシンチレーション	竜宮寺 修 (245)
8. Doppler 法による電離層擾乱の観測	{ 中 村 義 勝 (257)
9. ボトムサイド <i>イオ</i> ノグラム解析	{ 羽 倉 幸 雄 (257)
	北 条 尚 志 (269)
10. 極地方の自然雑音について	村 永 孝 次 (281)
11. 極域における電波予報と短波回線設計	一之瀬 優 (299)
12. オーロラ中のプラズマ不安定	小 川 忠 彦 (311)
13. 磁気圏嵐 (<i>Magnetospheric Substorm</i>)	恩 藤 忠 典 (323)
14. 磁気圏 Tail の物理	塩 見 正 (347)
15. 極軌道衛星 <i>現象</i>	高 橋 耕 三 (361)
16. 太陽高エネルギー粒子の諸問題	羽 倉 幸 雄 (365)
17. 太陽風中の波と不連続	渡 辺 成 昭 (377)
18. 超長基線干渉計 <i>実験の現状とその問題点</i>	川 尻 巖 大 (391)
19. X線 <i>星</i> 輝の電波放射	河 野 宣 之 (403)
20. 編集後記	渡 辺 成 昭 (413)
研究所の動向	(415)

正 誤 表

Vol. 20 No. 108 May 1974 高緯度超高層物理学特集号に誤りがあったので次のように訂正する。

	誤	正
203ページ第1表	ii) PCA 性発生中	ii) PCA 発生中
204ページ左側23行目	の C. C. I. R. Report 中	C. C. I. R. Report の中
204ページ右側14行目	一般に場磁の	一般に磁場の
206ページ右側下から3行目	連用	運用
208ページ左側14行目	230MHz における	230MHz 波の
208ページ右側17行目	オーロラ吸収では時間のオーダーであり、極冠吸収では数日の分解に応じた。	オーロラ吸収は時間のオーダーであり、極冠吸収は数日の分解に応用した。
391ページ左側下から8行目	D	D_s
391ページ第2図中	(H, D)	(H, D_s)
392ページ左側12行目	$\sin D, \cos D$	$\sin D_s, \cos D_s$
392ページ(1), (3)式中	$\sin d \sin D - \cos d \cos D \cos$	$\sin d \sin D_s + \cos d \cos D_s \cos$
392ページ(2)式第3項	$(H-h)$	$(H-h)$
392ページ左側下から3行目	第4図	第5図
392ページ右側下から8行目	第3図	第4図
同上 7行目	第4図	第3図
392ページ第3図中	$\rightarrow \left \sim \frac{1}{4\pi\Delta\omega} \right \Delta\omega : \text{band width}$	削除
394ページ左側下から6行目	到来電波のパワーの相	到来電波の相
396ページ左側5行目	4 MHz を	2 MHz を
396ページ右側下から2行目	持つ	待つ